

# 僕の活躍で、 市民に元気を



本市初のプロ野球選手となった広島東洋カープの大瀬良大地選手。長く激しいシーズンを戦い終え、里帰りで大村へ。「帰省するとすぐに同級生から連絡があり、仲間と楽しい時間を過ごすことができました。」と、地元大村ですっかりリフレッシュしたようです。

桜が原中学校を卒業後、長崎日本大学高校に入学。高校3年生の時、甲子園に出場しました。九州共立大学へ進学後は、エースとして大活躍し、日本代表に選ばれました。ドラフト会議では、1位指名で3球団が競合。平成26年に広島東洋カープに入団し、新人王にも輝きました。大村が生んだスーパースターです。

大村へ帰省してもトレーニングは欠かしていません。「なつかしい風景を眺めながらランニングをしていると、多くの市民の皆さんに声を掛けられた」そうで、「その応援がなによりもうれしい。苦しいときこそ、皆さんの応援が励みになります。来シーズンも楽な道ではないが、活躍して大村市民に元気を与えたい。」と、来季の奮闘を誓いました。

大瀬良選手は、野球だけに限らず、人間性にも定評のある好青年。その活躍は市民の誇りであり、大村の子どもたちに夢や希望、感動を与えてくれています。「僕にとって大村が原点。少しでも恩返しできれば光栄です。応援よろしくお願いします。」と大瀬良選手。大村から応援せずにはいられません。



## Profile

おおせら・だいち  
平成3年6月17日生まれ  
小学校4年生から野球を始める。桜が原中を卒業後、長崎日大高へ進学し、甲子園にも出場。九共大進学後も4年間活躍し続け、リーグ優勝に大きく貢献。アマチュアながら日本代表に選ばれる。ドラフト1位指名を受け広島東洋カープへ入団し新人王に輝く。背番号14。24歳。

## プロ野球・広島東洋カープ 投手 大瀬良 大地さん



## クローズアップ

## 大村人

vol.13

このコーナーは、ふるさとを思いながら、市内外で活躍する大村人、を紹介していきます。